

# 2019年度 事業計画書

---

2019年5月28日

## 1. 2018年度の振り返り

今年度、基幹事業である「児童養護施設への自転車寄贈事業」（以下自転車寄贈事業）は、公益財団法人 JKA（競輪・オートレース振興法人 以下JKA）の補助事業（小学生向け）として、大幅に増額の認可を受けられたことにより、既存事業（中高生向け）と合計で、寄贈施設数が2017年度の67施設から106施設に、寄付台数も144台から220台に増大することが出来ました。

今年度のこの寄贈により1,000台の突破と全都道府県への寄贈を完了することができました。

自転車教室に於いては一般社団法人 日本競輪選手会、各施行者のご協力のもと、競輪場での5会場に加え、新たに訪園しての開催を3施設で実施し、来年度へ向けての実績を作ることが出来ました。

今年度を終えて、寄贈先は延べ635施設、台数は1,187台となっております。

「自立支援事業」としては、NPO法人ブリッジフォースマイルを通して、児童養護施設を退所した子どもたちへの支援を継続。

その他、支援団体先のイベント等での募金活動、交通広告、屋外看板などの広報活動も継続しました。

また、児童養護施設の現状、ニーズ、自転車寄贈事業の必要性などを調査すべく、施設へのアンケートを実施。

平均して子ども 1.9人に対し一台の自転車という現状、余暇にも通学にも必要であり、そのニーズが高いことと共に、弊財団の事業の有用性を確認する結果となりました。

## 2. 2019年度の基本方針

事業の有用性が確認できたことを踏まえ、2019年度も児童養護施設の子どもたちへの「自転車寄贈事業」を主な事業として行って参ります。

JKAからは活動が評価され12,128,000円の交付額と決定し、自転車寄贈の目標が470台となりました。

自転車教室においては競輪場での開催に加え、訪園しての自転車教室も昨年度より多く実施するべく、6月よりの日程調整、夏休み前からの実施を目指してまいります。

基金拡大のための施策として、財団の認知拡大を様々な媒体を活用し積極的にPRし、新たな支援者の拡大と、寄付収入の獲得を行ってまいります。

以下に事業計画の概要を提示します。

## 3. 事業計画概要

### 1) 自転車寄贈事業

これまで既存事業（中高生向け）とJKA補助事業（小中学生向け）を分けて実施しておりましたがこれを撤廃し、昨年度実施したアンケート結果を受け、通学でのニーズが高い中高生向けの寄贈を増やす方向で事業を展開して参ります。

寄贈数は120施設、470台を予定しております。

自転車購入単価は25,000円（送料防犯登録料含む想定額）とし、2019年度自転車総購入費は11,750,000円となります。

また、同様にアンケートで山間部の施設等から要望のあった、電動アシスト付き自転車を10台寄贈する予定であります。

自転車贈呈式・自転車教室については、競輪選手会などの関連団体等と協力の上、参加する子どもたちに喜ばれるよう、競輪場7回、訪園5施設での実施を目指すと同時に、開催の模様をメディア等へ取り上げて貰えるよう積極的に働きかけ、接触機会の向上を図ります。

### 2) 児童養護施設の子どもたちへの自立支援事業

自立支援活動につきましては、今年度もNPO法人ブリッジフォースマイルのプログラムへの寄付を検討して参ります。

### 3) その他団体への支援活動

昨年同様、日本赤十字社など、財団の理念に合致する団体・法人等へ支援を行います。

#### 4) 基金拡大のための施策

認知度向上及び寄付収入の獲得を目指し、2017 年度より開始した広報活動により注力し財団の認知度を高めて、支援団体、アソシエイトの活動のバックアップとして参ります。

また、2018 年度に実施したアンケートの調査結果を基に、一般的にはあまり知られていない児童養護施設の現状を、HP やリプレットレポート等で、対外的にアピールし、社会の関心を集めるとともに財団の活動への理解を深められるよう努めます。

#### 5) その他

JKA 補助事業（385 事業）の代表 9 事業を紹介する専用 Web サイトを JKA サイドが制作しおり、その中に弊財団が選ばれ紹介していただけることとなりました。